

《担当者名》看護分野 教授 / 山田 律子rich@ 准教授 / 八木 こずえco-yagi0913@ 講師 / 遠藤 紀美恵k-endo@
福祉分野 准教授 / 巻 康弘maki@ 准教授 / 橋本 菊次郎hashimoto-kiku@ 講師 / 下山 美由紀m_shimoyama@

【概 要】

看護や福祉の対象となる人々の理解と支援の実際、社会制度について学習することにより、人間の可能性とケアの多様性について考察する。

【学修目標】

看護の役割と専門性について理解する。

高齢者医療、周産期医療、精神医療における主な健康課題と基本的な看護活動の概要について理解する。

福祉の理念と福祉制度、少子高齢化・グローバル社会の動向と課題について理解する。

高齢者福祉、障害者福祉、医療福祉の対象者の実態とニーズ、福祉サービスの仕組みと支援者等の制度と課題について理解する。

健康で文化的な生活の質の向上と地域における自立を実現するために、福祉と医療の連携について理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	講義ガイダンス 看護の役割と専門性	講義の概要や構成について理解する 看護の役割と専門性について理解する	八木 こずえ
2	精神医療と看護	精神医療を取り巻く現状と対象を理解する 精神看護における精神障害者へのアプローチを知る 精神看護における精神健康へのアプローチを知る	八木 こずえ
3	医療者のメンタルヘルス	医療者のメンタルヘルスについて理解する 自らのストレスケアについて考えることができる。	八木 こずえ
4	ライフサイクルにおける女性の健康 と看護	・リプロダクティブヘルス・ライツに関する概念について知る。 ・思春期、成熟期、更年期の健康課題とヘルスプロモーションについて知る。	遠藤 紀美恵
5	母子とその家族への看護実践	・妊娠、分娩の生理について理解する ・妊娠期、産褥期の健康課題について知る。	遠藤 紀美恵
6	高齢者医療と看護	・加齢に伴う心身の変化と疾患をもつ高齢者の特徴について理解を深めた上で、高齢者の看護を学ぶ。 ・高齢者医療における歯科医師の役割と、多職種との連携・協働について考えることができる。	山田 律子
7	認知症高齢者への看護	・認知症高齢者の理解を深め、日常生活における自己決定を大切にした看護について学ぶ。 ・認知症高齢者に対する歯科診療時の留意点と、他職種との連携・協働について考えることができる。	山田 律子
8	福祉とは何か。	・社会保障の体系と社会福祉について学ぶ ・人口構造等からみる高齢社会の現状を理解する	下山 美由紀
9	高齢者福祉の課題	・高齢者の生活ニーズを理解する	下山 美由紀
10	高齢者福祉の課題	・介護保険制度の概要を学ぶ	下山 美由紀
11	精神障害者福祉の課題	・日本をはじめ、諸外国における精神障害を持つ人たちの医療や社会的支援の歴史と現状を学ぶ。	橋本 菊次郎
12	精神障害者福祉の課題	・精神障害の治療・リハビリテーションについて優れた実践を紹介し、福祉のあるべき姿を学ぶ	橋本 菊次郎
13	医療福祉の課題	・病気が暮らしに与える影響を理解する。 ・患者と家族の生活ニーズを理解する。	巻 康弘

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
14	医療福祉の課題	- 医療ソーシャルワーカーの業務について学ぶ。 - 地域における多職種チーム連携の役割と現状を学ぶ。	巻 康弘
15	まとめ	授業の総括、展望	橋本菊次郎 巻 康弘 下山 美由紀

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

看護分野 50点（レポート及びミニテスト）

福祉分野 50点（レポート）

【教科書】

各講義で資料を配付する。

【参考書】

授業の中で提示する。

【学修の準備】

各講義の終了時に、次回の講義の紹介と準備すべき事項について説明があるので、準備をして講義に臨む。（80分）

事前に配付する「べてるの家」と当事者研究に関する資料を読んで参加する。（80分）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1.人々のライフステージに応じた疾患の予防、診断および治療を実践するために基本的な医学、歯科医学、福祉の知識および歯科保健と歯科医療の技術を習得するために必要な知識を看護・福祉学の観点から修得する（専門的实践能力）。

DP2.「患者中心の医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を看護・福祉学の観点から身につける（プロフェッショナリズムとコミュニケーション能力）。

DP3.疾患の予防、診断および治療の新たなニーズに対応できるよう生涯にわたって自己研鑽し、継続して自己の専門領域を発展させる能力を看護・福祉学の観点から身につける（自己研鑽力）。

DP4.多職種（保健・医療・福祉）と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践するために必要な知識を看護・福祉学の観点から修得する（多職種が連携するチーム医療）。

DP5.歯科医療の専門家として、地域的および国際的な視野で活躍できる能力を身につけるために必要な知識を看護・福祉学の観点から修得する（社会的貢献）。

【実務経験】

看護師：山田 律子 下山 美由紀

助産師：遠藤紀美恵

精神専門看護師：八木こずえ

社会福祉士：巻 康弘

精神保健福祉士：橋本 菊次郎

【実務経験を活かした教育内容】

医療・福祉専門職人（看護師、社会福祉士、精神保健福祉士）としての実務経験から、歯科医療で生きる教育を実践している。